

# 大東民報

## 議会版

日本共産党  
大東市議会議員団  
大東市谷川1丁目1-1  
TEL 072-871-5588



市議員 つとむ ぼびた茂  
Tel.090-3864-5037



市議員 かづこ ともあし勝子  
Tel.090-1079-8939



市議員 しげる とびた茂  
Tel.090-7099-8429

### 法律相談

7月2日(水)7時~  
大東市民会館  
※要予約、先着順  
871-5588まで

## まちづくり委員会が開かれる(6月12日)

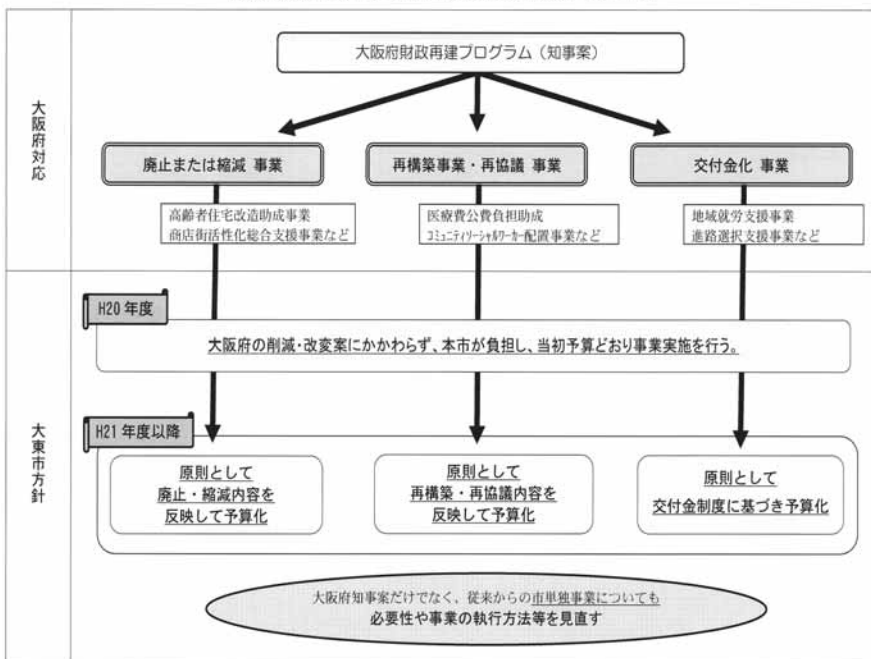
まちづくり委員会に付託された議案は「住道北小・三箇小の建替及び大規模改修工事契約」「下水道東部排水区工事契約」のほか、「平成二〇年度補正予算」などです。「平成二〇年度補正予算」の主な中味は、次のとおり。

- 非常勤職員退職慰労金廃止に伴う報酬増額
- 住道駅前デッキの修景事業(一〇〇〇千円)
- 河北養護老人ホーム跡地の「南楠の里公園」新設(二九〇〇万円)
- 末広公園北側整備設計料(一〇〇万円)
- 大東中央公園整備(六三四五万円)
- 諸福中垣内線の歩道拡幅(五九九八万円)
- 南の子線改良事業(二〇〇〇万円)
- 深野北御供田線整備(六三〇万円)
- 都市計画画道路用地の開発公社からの買い戻し(二億一六一七万円)
- 民間建築物耐震診断補助(四九〇万円)
- 庁舎耐震診断(六〇〇万円)
- はしご車のオーバードール(二六〇〇万円)
- 消防東分署の移転費用(二億八四一七万円)などです。

日本共産党・古崎勉議員は市長選挙直後の議会ではあるものの、予算案と議案の中味に基づいて慎重に審議し、「賛成」しました。

## 『大阪維新』プログラム(案) 大阪府予算年間3兆円のうち2.2%

『大阪府財政再建プログラム』に対する本市の方針【フロー図】



いきいき、まちづくり両委員会の終了後、「府財政再建プログラム」について議員説明があり、資料が配布されました。

PT案の予算は府の年間予算の3%にも満たない。橋下知事は、「大阪府は、民間企業でいえば破産状態にある。」と言って「大阪維新」を提起していますが、何故そうなのかわかりません。府民犠牲で乗り切ろうとしています。

○厚生労働省創設の「工賃増計画支援事業」について  
厚生労働省は、授産施設などで働く障害者の工賃を、平成23年度までに現在の水準から倍増させることを目標に、「工賃増計画支援事業」を創設しました。



○自立支援医療(精神通院)において従来行われている国民健康保険加入者の自己負担額助成について  
従来どおり実施されるのでしようか。必要な医療を受ける上で極めて意味のある施策であり継続が求められている。

大東市内の作業所の実態を把握する必要がありますか。早急に改善策が必要と考えますがどうですか。

○深野中学校校舎4階のトイレのドアが壊れたままになっていることについて  
早急に改善が必要ではないか。ゴミが平気で捨てられる街角では、こどもたちは同じことをして育ちます。あれた環境に身を置く時間が長いほど、深刻な影響を生徒に与えることを考えれば放置できない問題であると考えますが、直接的な生徒への指導はもちろん、破損箇所をなくし、快適な環境で学べるような手だては、どのように尽くされているのか。修理の計画はどうか。

いきいき委員会でも、とよあし・とびた両議員が付託案件外で通告をし質問しました。  
「Aグループ」で豊茸が質問  
「Bグループ」で飛田が質問  
○深野中学校運動場の水たまり対策について  
大きな水溜りが出来て、グラウンド本来の機能が果たされていない。改修の予定はあるのか。

六月議会 一般質問

日本共産党の飛田です。私の住む地域には、四

条小学校・北条西小学校・深野北小学校など、「学校統廃合の対象となつてい

る小学校」が全てあり、四月の選挙では「何として

もやめて欲しい」という切実な市民の声が毎日のように届けられました。その声は、現在通学している生徒や保護者にとどまらず、当該校の卒業生や、そのお孫さんが通っているという祖父母に至るまで、年代を超えております。

大東市は「民間にできることは民間で」というけれど、数千万円の削減のために学校をつぶす、その一方で十数億円をかけて駅前駐輪駐車を造る。どう考えてもおかしい。教育を守るのが行政の仕事で、駐車を造るのは業者の仕事ちゃうんか！と、憤りをもって私に詰め寄る方もおられました。

特別委員会では「小学校については十二学級、中学校については九学級を存続の許容範囲の一つの基準」とされています。別の項では三百人という児童・生徒数も基準とされています。

学級数について、各学年でクラス替えを行う上で複数必要なことは理解できますが、生徒数については300人を12学級で割ると一クラス25人、これが250人だったら一クラス当たり、約21人になります。

300人だったら許容範囲だが、250人では存続の許容範囲を逸脱するとお考えでしょうか、また、一学級当たりの人数がどの程度の時に学習効果が高まると考えているか、お答えください。



☆一学年一学級を避け、クラス替えを継続してできるよう、各学年50名程度、6学年全体で300名程度の規模は必要と考える。

次に、少人数学級の持つ意義について伺います。

本年2月13日の市民要求実行委員会への回答書の中で、少人数学級について、「子ども同士の学び合いがより深まり、きめ細かい指導が可能である」という意見もあり、教育上効果的な側面のあるものと認識しています。と答えておられますが、間違いございませんか。

同時に学校教育ではライフスキルを学んだり、あるいは自分の欲求が満たされない時の心の持ち方(適応規制)昇華・攻撃・合理化などや、人格形成、あるいは集団とルールなど、あらゆる場面で学習集団が要求されますが、ここがおろそかにされてしまうと、勉強のできる、いわゆる「よい子」が、社会的不安を呼ぶような大事件を起こしてしまうことにも繋がりがかねません。

子どもが把握し、認識できる人数は年齢とともに増えていきます。しかし、小学校児童に200人、300人、400人の学校規模の違いを認識させることは困難です。「小規模校では競争力が育ちにくい」などというのはその意味で根拠がありません。

☆・・・答弁なし。

今、子育て不安の広がる中で、求められているのは学校統廃合ではなく、少人数学級であり、適正規模の見直しで、地域ぐるみの子育て・地域に根差した学校教育ではないかと思えます。

消防・東分署 移転について

次に、現在北条にある東分署が、南に移設されると聞いて、市民が、「初動態勢が悪化するのではないか」との不安を抱いています。今回の移転によって生じるメリットを知らせ、不安を取り除くに必要な広報活動が求められておりますが、いつ、どのような方法を実施するのか。

☆移転により踏切のリスクを受けずに災害現場への到達が可能となる。

7分以内に到着する地域は97%と算定している。なお、移転については、広報だいたい・消防機関誌などを通じて事前に広く市民に周知してまいりたい。



予防介護の取り組みについて

街角デイハウスですが、府知事案では来年度以降の存続が危ぶまれる状況にさらされています。この街デイの果たしている役割をどのように見ているか、答弁を求めます。

また、府の予算が削減された場合でも、その部分を市で独自に補うことが求められています。引き続き存続させる努力がされているのか、それはどのようなものか、合わせてお答えください。

☆高齢者が気軽に参加できる大変有効な生きがいのある場であり、孤立化を防止し見守りの役割を

担っていただいている。来年度以降は府の示す内容に則して検討。

市内循環バスの路線拡大について

西部地域の近鉄バス路線廃止と、それを補う市内循環バス路線の増便について、わが党の古崎議員が代表質問で述べているところだが、東部山麓部でも、要望が根強い。

「ポトルネツクの問題があつて運行不可と言われているが、見捨てられた気持ちだ。」「決して大きなバスを要望しているわけではない。飯盛山荘のバスや、ダンプカーが走っているのに、ワゴン車でもいいから走らせてくれるつもりはないのか」という意見もあります。

同じ市民でありながら、循環バスの利用ができない、この不公平さを解消する誠意ある答弁を求めます。

☆要望があることは承知しているが、既存の路線バスとの競合・安全な離合・利用客数などの要件が整わない。車種変更は考えていない。